

約 1 年ぶりの公開。"ありのまま"の文化財建築を隅々まで 東京都指定有形文化財「百段階段」特別公開 2026 年 10 月 1 日(木)から 2027 年 3 月 30 日(火)まで

株式会社目黒雅叙園(所在地:東京都港区 / 代表取締役社長:田渕 浩之)は、東京都指定有形文化財「百段階段」の運営を受託し、2026 年 10 月 1 日(木)から 2027 年 3 月 30 日(火)までの期間、「百段階段」の文化財建築特別公開を開催いたします。



＜百段階段「^{ぎしう}漁樵の間」＞



＜百段階段「^{せいすい}静水の間」＞

東京都指定有形文化財「百段階段」は、1935(昭和 10)年に建てられた木造建築です。かつて料亭の宴会場として使われ、晴れやかな宴が行われた 7 部屋を 99 段の長い階段廊下が繋いでいます。階段で結ばれた各部屋はそれぞれ趣向が異なり、建物の特徴は装飾の破格な豪華さにあります。各部屋には、昭和初期を代表する画家たちによる 126 枚の日本画や、螺鈿細工、釘や接着剤を使わずに作られた組子障子、天井に嵌め込まれた 750 点以上の七宝細工、樹齢約 200 年の檜の床柱などによって彩られ、2009(平成 21)年に東京都の有形文化財に指定されました。

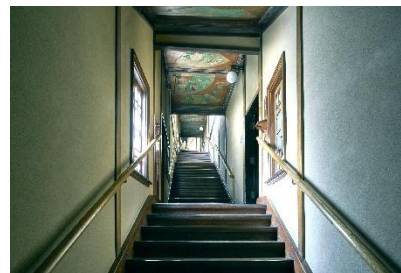
このたび約 1 年ぶりとなる特別公開では、展示物をほぼ設けず、ありのままの文化財建築が持つ魅力を隅々までご覧いただけます。また、戦前のものを修復した現存する最古の回転テーブルと言われている「螺鈿の回転テーブル」を百段階段「十畝の間」で公開いたします。螺鈿細工の装飾が特徴的な「十畝の間」と、かつて食事の場を華やかに彩った螺鈿の回転テーブルの初共演を期間限定でご覧いただけます。

＜東京都指定有形文化財「百段階段」文化財建築特別公開 開催概要＞

- 【期間】 2026 年 10 月 1 日(木) - 2027 年 3 月 30 日(火)
※毎週水曜日、年末年始:2026 年 12 月 28 日(月) - 2027 年 1 月 1 日(金)を除く
- 【時間】 一般入場 11:00 - 17:00(最終入館 16:30)
[金・土] 一般入場クローズ後の人数限定ガイドツアー付見学 17:00 - 18:00
[日・月・火・木] 一般入場クローズ後の人数限定自由見学 17:00 - 18:00
- 【会場】 東京都指定有形文化財「百段階段」(東京都目黒区下目黒 1-8-1 雅叙園東京内)
- 【料金】 [当日券] 一般 ¥1,800 / 大学・高校生 ¥1,200 / 小・中学生 ¥1,000
[前売券] 一般 ¥1,600 / 大学・高校生 ¥1,000 / 小・中学生 ¥900
※前売券販売は 2026 年 9 月 30 日まで
※未就学児無料、障がい者手帳保持者(介助者 1 名含む)無料
夜間自由見学チケット ¥2,000 / ガイドツアー付見学チケット ¥2,500
※料金には消費税が含まれております
- 【販売】 百段階段公式オンラインチケットのみ ※「百段階段」受付では販売していません
- 【URL】 百段階段公式オンラインチケット:www.e-tix.jp/100event
公式ホームページ:megurogajoen.co.jp/hyakudan-kaidan

【みどころ1】 約1年ぶりとなる文化財「百段階段」公開

画家、大工、職人などあらゆる分野のプロフェッショナルによる超絶技巧で埋め尽くされた唯一無二の文化財建築「百段階段」。欄間や天井画を彩る日本画、長押や床柱に施された装飾、建築意匠の数々をお楽しみいただけます。また、日にち限定・人数限定のガイドツアー付特別見学(事前予約制)も開催します。



<百段階段>

■日時指定・定員制／ガイドツアー付チケット

一般入場クローズ後の 17:00 -18:00 にガイドツアー付(日本語のみ)で見学できるチケットです。解説付で文化財を見学したい方におすすめです。

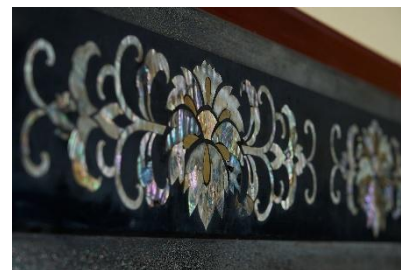
【開催曜日】金曜日、土曜日

【定員】各日 20 名様

【料金】¥2,500(税込) ※詳細は公式オンラインチケットページをご覧ください

【みどころ2】 螺鈿の回転テーブルを、螺鈿細工に囲まれた「十畝の間」にて特別展示

螺鈿の回転テーブルを百段階段内で特別展示いたします。百段階段「十畝の間」は長押や床框に螺鈿細工が施された螺鈿装飾が特徴的な部屋です。今回はその煌びやかな文化財建築と、かつて食事の場を華やかに彩った螺鈿の回転テーブルの初共演をご覧ください。



<百段階段「十畝の間」> 螺鈿細工

【みどころ3】 百段階段内に描かれたモチーフを百個ご紹介

「百段階段」を彩る絵画や建築意匠には、健康や富貴、良縁といった縁起のよい意味が込められたデザインが数多く存在します。今回は新たな幕開けにふさわしい鶴、龍、牡丹など「えんぎもの」をテーマに、百段階段に描かれたモチーフを 100 個ご紹介。一つひとつの装飾の意味を知ること、初めてご覧になる方にも文化財建築をより深くお楽しみいただけます。



<百段階段「草丘の間」>

東京都指定有形文化財「百段階段」とは

「百段階段」とは通称で、旧目黒雅叙園 3 号館にあたり、1935(昭和 10)年に建てられた木造建築です。食事を愉しみ、晴れやかな宴が行われた 7 部屋を、99 段の長い階段廊下が繋いでいます。階段は厚さ約 5cm のケヤキ板を使用。階段で結ばれた各部屋はそれぞれ趣向が異なり、各部屋の天井や欄間には、当時屈指の著名な画家達が創り上げた美の世界が描かれています。

“昭和の竜宮城”と呼ばれた当時の目黒雅叙園の建物の特徴は、装飾の破格な豪華さにあります。最近の研究によると、その豪華な装飾は桃山風、更には日光東照宮の系列、あるいは歌舞伎などに見られる江戸文化に属するものとも言え、なかでも「百段階段」はその装飾の美しさから見ても、伝統的な美意識の最高到達点を示すものとされています。2009(平成 21)年 3 月、東京都の有形文化財に指定されました。

【お問い合わせ先】

百段階段 PR 事務局(ワタベウェディング株式会社内) 飯村・下村・梶野
public-relations@megurogajoen.co.jp